

1. 科目名 (単位数)	保育内容総論Ⅱ (2単位)	3. 科目番号	SJMP4130
2. 授業担当教員	太田 節子		
4. 授業形態	講義、演習	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	「保育内容総論」の授業内容をふまえて、その応用、発展的な学習を目指す。幼稚園実習及び保育所実習の経験を活用させ、グループワークを取り入れながら現場の保育内容について検証する。また、保育内容に関する知識・理解を深めるために、様々な保育実践事例を取り上げ、事例から子どもの発達の可能性を見いだす視点を養うと共にその保育内容について総合的に検証・評価する。		
8. 学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもをとりまく社会的状況を理解し、説明することができる。 ・幼稚園実習及び保育所実習経験をふまえて現場の保育内容を検証することができる。 ・よりよい保育内容を構築するための環境構成、指導・援助について考察することができる。 ・様々な保育実践事例を通して、子どもの発達や学習の可能性を考察し、議論することができる。 ・保育全体への視野を広げ、保育内容を総合的に検証・評価する力を身につける。 		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	学生各自の学習状況に応じて、レポート課題、及び宿題を提示する。		
10. 教科書・参考書・教材	【参考書】 厚生労働省『保育所保育指針』フレーベル館 【参考資料】 幼稚園教育要領 (平成 29 年 3 月告示 文部科学省) 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 (平成 29 年 3 月告示 文部科学省)		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1. 幼稚園実習及び保育所実習経験をふまえて現場の保育内容を検証することができるか。 2. よりよい保育内容を構築するための環境構成、指導・援助について考察することができるか。 3. 様々な保育実践事例を通して、子どもの発達や学習の可能性を考察し、議論できるか。 ○評定の方法 授業への積極的参加態度、課題への取り組み、レポート等を総合して評価する。 1 積極的授業態度 総合点の 30% 2 課題への取り組み 総合点の 30% 3 期末レポート 総合点の 40%		
12. 受講生へのメッセージ	これまでの学習の集大成の心構えをもって授業に望んで下さい。保育者には生涯学習が求められます。現場に出てからは、園内外の研修での積極的学習が望まれますが、基本的には自身が保育についてより深く学ぼうとする姿勢を継続することによって保育者の成長が決まっていきます。保育者の成長はよりよい保育内容を生み出します。なぜ学び続けていかなければならないかをこの授業で確信し、「自ら学ぶ力」を身につけて、保育の質を高めていける保育者を目指して欲しいと思います。		
13. オフィスアワー	月曜日 15:00～18:00		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	「保育内容総論」で学んだことを振り返る—幼稚園教育要領、保育所保育指針における教育の基本、及び各領域のねらい、内容、全体構造を中心に—	事前学習	「保育内容総論」のノート、テキストを参考にして学んだことを復習しておく。
		事後学習	「保育内容総論」と「保育内容総論Ⅱ」の関係についてまとめておく。
第2回	実習体験をふまえて、現場における保育内容を検証し、「省察」、「議論」することの意味を学ぶ—子ども理解への評価—(1)	事前学習	「保育内容総論」で学んだこと、実際の保育で生じた課題を整理しておく。
		事後学習	保育内容について、「考え」、「理解」することの意味をまとめる。
第3回	実習体験をふまえて、現場における保育内容を検証し、「省察」、「議論」することの意味を学ぶ—発達の見通しと言葉かけへの評価—(2)	事前学習	第2回で学んだことを復習しておく。
		事後学習	保育内容を「実践」し、「省察」することの意味をまとめる。
第4回	実習体験をふまえて、現場における保育内容を検証し、「省察」、「議論」することの意味を学ぶ—環境構成への評価—(3)	事前学習	第3回で学んだことを復習しておく。
		事後学習	保育内容について、「議論」することの意味をまとめる。
第5回	様々な保育内容を検証する。-1-	事前学習	保育目標 (ねらい) と保育内容の関係を復習しておく。
		事後学習	授業で学習したポイントを理解しておく。
第6回	様々な保育内容を検証する。-2-	事前学習	園外保育の意味について理解しておく。
		事後学習	子どもとの対話から生み出す保育内容の意味を理解する。
第7回	様々な保育内容を検証する。-3-	事前学習	植物栽培の教育的意図を考えておく。
		事後学習	保育目標、保育内容、保育方法の関係を理解する。
第8回	保護者への理解と対応-1-	事前学習	現代の保護者の状況を調べておく。
		事後学習	保護者理解の観点を復習する。

第9回	保護者への理解と対応-2-	事前学習	前回の授業から、望ましい保護者対応の方法を考えておく。
		事後学習	授業で採り上げた保護者への対応のポイントをまとめる。
第10回	特別に支援を必要とする子どもへの対応	事前学習	特別に支援を必要とする子どもの事例について調べておく。
		事後学習	授業で採り上げた保育実践事例について自分の考えをまとめる。
第11回	諸外国の保育と保育内容	事前学習	保育先進国とされている外国の保育について調べておく。
		事後学習	授業でとりあげた外国の保育内容から学べる事柄をまとめる。
第12回	現代の子ども達が抱える学習課題と保育内容—発表1—	事前学習	自身が考える現代の子どもの学習課題をまとめる
		事後学習	自身の発表ふまえて、他学生の発表から学ぶ。
第13回	現代の子ども達が抱える学習課題と保育内容—発表2—	事前学習	現代の子どもが抱える学習課題への理解を深める「
		事後学習	他学生の発表の内容を検証する。
第14回	現代の子ども達が抱える学習課題と保育内容—発表3—	事前学習	現代社会が及ぼす子どもへの影響について考察する。
		事後学習	他学生の発表を今後の自身の保育技術に生かす
第15回	現場における新任保育者の課題	事前学習	これまでの配付資料とノートを見直しておく。
		事後学習	15回の授業をふまえて、自身の学習課題を整理する。